

3年次前期・選択

1単位・15時間

---

---

**【概要・目標】**

薬理学各論として、疾病の予防・診断・治療に用いられている薬物の適切な臨床使用を補助することができるようになるために、代表的な薬物の効果と有害作用、薬としての位置づけを理解する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

薬理学各論（2）

- 1) ～ 2) 中枢神経に作用する薬物
  - 3) 末梢神経系に作用する薬物
  - 4) ～ 6) 心臓・血管系に作用する薬物
  - 7) 呼吸器・消化器・物質代謝に作用する薬物
  - 8) 消毒薬、(救急の際に使用される薬物)
- 

**【評価】**

試験 (75%)、レポート (0%)、小テスト (10%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (10%)、参加態度 (5%)、その他 (0%)

\*その他…

---

**【教科書】**

吉岡充弘 他：系統看護学講座「薬理学」医学書院

---

**【推薦参考図書】**

田中千賀子 他：「NEW 薬理学」南江堂  
野元正弘 他：「薬がみえる vol.1」Medic Media  
弘世貴久 他：「薬がみえる vol.2」Medic Media  
福本陽平 他：「薬がみえる vol.3」Medic Media  
渡邊裕司 監訳：「臨床薬理学」丸善

---

**【その他】**

メールアドレス tomoen@wakayama-med.ac.jp